まくはり
Baytown News
第 172 号（2011 年 9 月 1 日号）
幕張ベイタウンニュース編集局
http://www.baytown-news.net/

# 夏休みラジオ体操が終了

6 年生のラジオ体操子どもリーダーのみなさん

今年の夏休みラジオ体操が終わりました。今年は前月号でもお伝えしたようにボランティアのサポーターのみなさん（ラジオ体操運営委員）がグループで運営するという初めて試みでしたが、無事事故もなく終わりました。

ラジオ体操の人気（？）は年々高まり、今年は前半の美浜打瀬小での開催時には好天にも恵まれ、小学生だけでなくシニアも含め毎日ほぼ 1000 人前後の参加がありました。

各小学校 6 年生による「ラジオ体操子どもリーダー」26 人の活躍も光りました。7 月の最初の土曜日に海浜打瀬小のピロティーで顔を合わせたときはそれぞれ別々の小学校から来ているため面識はなく、同じ小学校同士グループで行動するような状態でしたが、後半の頃からは互いに進んで協力して作業をしていました。　【松村守康】

### 中学生サポーターも登場

打瀬中 1 年生の赤川君と小畑君は昨年のラジオ体操子どもリーダーだ。今年は「後輩の指導を」と声をかけたところ 2 つ返事で引き受けてくれた。

ラジオ体操の初日から同じ中 1 の嶋田君と参加し、体操会の運営を支えていた。

写真左から嶋田君、赤川君、小畑君

### ラジオ体操リーダー候補生

ラジオ体操を見ていると、参加する小学生たち、特に低学年のラジオ体操の実技が毎年上達してきていることに驚かされる。小学校 1 年生でもラジオからの音楽に合わせ、身体が自然に動くようにラジオ体操が身についている子も珍しくない。こんな子はきっと就学前からお父さんお母さんに手を引かれラジオ体操に参加し、見よう見まねで覚えてきたのだろう。小学生になると毎朝ひとりでラジオ体操カードを首にかけて会場へ飛んでくる。福田君（写真左、小学校 2 年生）もそんなラジオ体操マニアのひとりだ。

ラジオ体操初日の 7 月 20 日。まだリーダーもサポーターも誰も来ていない美浜打瀬小学校の校庭に一番乗りでやってきた。その日から毎日、欠かさずやってきてはリーダーたちに一番近いところで体操している。注意して見ているとその体操はだんだん上達している。リーダーの演技を観察し、自分の体操を直しているようだ。毎年こんな子どもたちが育ってきて、6 年生になるとラジオ体操子どもリーダーに手を挙げてくれる。サポーターの大人たちにはこんなことが楽しみだ。

### リーダーの仕事

リーターが会場に来るのは毎朝 6:00 ～ 6:15。サポーターの大人と一緒に小学校の体育倉庫に保管してあるラジオなどの用具を手分けして運び出しセットする。6:15 からミーティングを始める。出席をとり、その日朝礼台に上がってみんなの前で体操する者を確認する。それが終わるとすぐに鎌田さんの実技指導だ。全員が 2 列に並び、第 1 第 2 体操の注意点を指導される。どの体操のときは指を延ばすとか、身体の傾きの角度など細かいところまで指導をうける。

ラジオ体操の放送が終わると一般参加者のためのカードへのハンコ押しをする。14 個あるハンコを分け合って下級生のためにハンコを押す。その間、手の空いた者はラジオのコードを巻き取り、整理して体育倉庫に運ぶ。

仕事が全部終わったら最後に翌日の予定などの打ち合わせミーティングをしてやっと解散となる。終了はいつも 6:45 頃になる。

# 打瀬中「音魂祭」レポート（2）

先月号では第２回音魂祭実行委員会が開かれ、各クラスでも曲選びが終わったと伝えたが、夏休みに入って学校は夏休みになりクラスでの合唱練習も一休み。クラス単位での音魂祭関連の活動はすっかり静かになった。夏休みは音魂祭関連の記事は無理かなと半ばあきらめかけていたところ、各クラスの指揮者と伴奏者は夏休みの間も音楽室で先生の特訓を受けているという。早速取材に向かった。　【松村守康】

夏休みも後半の８月 22 日。音楽室では朝８時から指揮と伴奏の練習が行われていた。練習をしていたのは３年Ｆ組の北條さん（指揮）と滝口さん（伴奏）。指揮者と伴奏者は夏休み中に音楽担当の先生から個別指導を受けることになっており、この日は３年音楽担当の木全先生がＦ組の指導していた。各クラス２日程度で終わるそうだが、この日は初日で３年生の課題曲「大地讃頌」（だいちさんしょう）の練習だった。

指揮の練習を見るのは初めてだったが、曲のテンポの伝え方や合唱の息つぎの部分でのさりげない合図の仕方など細かいところまで指導を受ける。今回指導を受けた北條さんは楽譜も読め、２年生のときにも指揮をしていてスムースに進んだが、音楽経験のない男子の場合は指導も大変だろう。

この日は３年生の練習を取材したが、夏休み期間中は他に 1、2 年生の全クラスが指揮と伴奏の指導を学年の音楽の先生から指導を受ける。夏休み中も音魂祭の準備は見えないところで進んでいた。

**3-B を引っ張るのはラガーマン**

志村君は３年Ｂ組の音魂祭実行委員だ。３年連続で実行委員をしている。話を聞きたいとコアのアトリウムで待っていると、現れたのは堂々とした体躯のスポーツマン。合唱に熱をあげるのだから少し線が細い中学生だろうと想像していたが、こちらの勝手な思い込みだった。

実は志村君は少年ラグビークラブに籍を置くラガーマンだ。中１でラグビーをはじめたが、打瀬中にはラグビー部がないので千葉市内の少年ラグビークラブに通い、中３の現在もラグビーに情熱を傾けている。

そんなラガーマンの志村君が音魂祭に関わるようになったのは１年生のとき。クラスの音楽係だったので音魂祭の実行委員に指名されたのだ。それまで合唱や音楽には興味はなく、半ば仕方なく引き受けた委員だった。しかしクラスのチームワークをまとめることはラグビーも同じだ。合唱のことは分からないがベストを尽くそう。そう思って音魂祭に向けてクラスを引っ張った。そして結果は…。優勝の発表を聞いたときは信じられなかったという。

２年生になった志村君にとって、秋の音魂祭実行委員に立候補することは当然のことだった。１年生のときはただがむしゃらにやって、思いがけず優勝という成果を得た。だが２年生での音魂祭はちがう。はっきりと優勝を目標にして挑戦し、結果をつかみたい。そう思って自分から実行委員に手を挙げた。

音魂祭の練習では男子の協力が不可欠だ。しかし運動系の部活では２年生が主力のチームづくりの時期になり、午後の部活と重なる時間帯に男子を集めることは大変だ。こんなとき同じ男子で、それも重戦車のように正面突破でクラスを引っ張る志村君の熱意は見事 2-B を優勝に導いた。

今年３年生になった志村君にとって音魂祭実行委員は「指定席」だった。打瀬中では２年生から３年生になるときクラス替えはない。昨年優勝を勝ち取った同じ仲間とともに今年も優勝を目指す。

**音魂祭こぼれ話**

音魂祭では各クラス２曲ずつを歌うことになっている。各学年共通の課題曲を１曲と自由曲を１曲だ。このうち課題曲は先生が指定するが、自由曲は先生から出された 15 曲ほどの中から各クラスが自分たちで選んで決めることができる。自由曲の希望は第１希望から第７希望くらいまで出すそうだが、当然人気のある曲には各クラスの希望が集まり、重複することもある。今年３年生の自由曲選定は 14 曲出されたリストから３年生７クラスの大半が同じ曲「虹」を第１希望に選び、結局くじ引きの末Ｃ組が歌うことになった。第１希望を射止めた 3-C 諸君。アドバンテージを活かして頑張れ。

おわびと訂正

先月号で音魂祭の開催されるホールを「千葉市民会館大ホール」とお伝えしましたが、正しくは「千葉県文化会館大ホール」の誤りでした。謹んで訂正します。

# ９月のコア・イベント

９月 17 日（土）わくわくお話し会　９月の常設お話し会

**９月の常設お話し会**

**時間：10:30 ～　場所：ベイタウン・コア　講習室（途中入場もできます）**

９月もわくわくするおはなしゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね！　予約は不要です。**　読み手も募集中、見学歓迎　**

お問合せ先：井上　（211-0188　wak2@yahoogroups.jp）

ブログ更新中・見てね＊＊　http://waku.makusta.jp/

９月 24 日（土）寺子屋工作ランド

**「よく鳴る竹笛（たけぶえ）」**

**時間：9:30 ～ 11:30**

**場所：ベイタウン・コア　工芸室**

持ってくるもの：小刀、セロテープ

参加費：50 円（保険料）

９月 25 日（日）ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

**第 98 回ファツィオリの会**

**時間：9:30 ～ 11:30　　場所：ベイタウン・コア　音楽ホール**

月に１度、休日の午前中イタリアのピアノ「ファツィオリ」を囲んで音楽を楽しむ会です。もちろんピアノ以外の楽器、歌の演奏などでも参加いただけます。

非公開でもご利用できますので、お気軽にお申込み下さい。

なお定員になり次第締め切らせていただきます

最新のプログラムは http://www.baytown.ne.jp/core/ をご覧下さい

申込締切・９月 17 日（土）

連絡先：TEL ＆ FAX 211-0675（小野寺）

## 住民による街路樹調査、11 年目に突入！

今から 10 年前、ベイタウンに入居した住民たちは「枯れている街路樹が多い？」という漠然とした印象をもちました。2001 年、緑化に取り組んでいた住民有志（ベイタウングリーンサム）が調査を開始。今年で 11 年目を迎えたグリーンサムの活動をお伝えします。【佐藤】

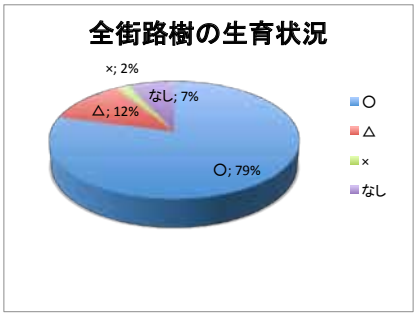
2002 年の調査では、当初植えられていた 899 本の街路樹のうち、根付いた木は 433 本という厳しい状況が浮き彫りになりました。原因としては、海から吹き込む南西風による塩害、海辺の乾燥した環境に合わない樹種の選定などが考えられました。

グリーンサムでは、こうした調査結果を自治会連合会を通して千葉県企業庁に提供し、住民からの視点を活かした提案を行ってきました。2006 年からは、より正確な調査を実施するため、街路樹 1 本 1 本に管理番号を付けて観察を行い、データベース化をすすめています。

調査開始当初から取り組んできたメンバーの皆さんにお話をうかがいました。

「建設途上のベイタウンでは、公園や街路樹の木々が生長するよりも枯れていくようで調査を始めたんですが、まちの完成も近づき、ここ 5 年くらいは街路樹の生育の良さが目立つようになりました。一時苦戦していても年数がたつとどっしり根を下ろしている、木のたくましさに驚かされることも。それを参加者みんなで喜び合うのもいいですね」（山木さん）「私は、家の前のユリノキに関心を持って調査してきました。5 月にはチューリップのような花が咲くのが楽しみです。よそのまちに行っても、つい街路樹に目がいってしまいます！それと、ベイタウンのなかの人と知り合うことができたのも収穫でした」（松本さん）「私は上の子が 4 歳の時から参加しているので、子どもの成長と木の生育が重なって感慨深いですね。私自身、調査をしてきて、街路樹を見る目が変わりました。以前は、より自然な状態の木を求めていましたが、枯れそうになっても頑張っているベイタウンの木にも愛着がわいています。これからは管理面でも、人と街路樹を結ぶしくみができたらいいなと思っています」（那須さん）

イチョウ、モミジバフウ、ケヤキ、アキニレ、ナンキンハゼ…木についている樹名板を見て名前を知るだけでも街路樹に親しみがわいてきます。ベイタウンはこれから紅葉の季節を迎えます。今年は、遠くに出かけなくても楽しめる身近な紅葉スポットを散歩がてら探してみてはいかがでしょう。




## 小説　2036 年

2036 年 8 月のある朝、私はいつものように家を出た。今朝は可燃ゴミ収集日なので、妻からゴミ袋を 3 つも委ねられた。昔はゴミ空気輸送システムというものがあり、毎日捨てることができたらしいが、今は市の収集車が来る日の朝にしか捨てられない。ゴミ収集室には、20 年前までは動いていたと言われる巨大なゴミ投入機が遺跡のように鎮座しているが、今は場所をとるだけの存在だ。ゴミ収集室自体ももはや開かずの間となっており、ゴミ捨て場は市のゴミ収集車がアクセスしやすい場所に急ごしらえで設けられている。かつてはネズミやゴキブリのいない街と言われたこともあったようだが、最近ではよくお目にかかるようになっている。おっと、ゴミ収集車がやってきた。あわててカラス除けのネットを持ち上げてゴミ袋を置いてその場を離れる。

ヨーロッパを模した沿道型住宅の街並みは今もおしゃれできれいだ。景観をだいなしにするカラーコーンの列と、それを無視してずらりと並んだ路上駐車の群れが玉にキズだが…。歩道もタイル貼りで、ところどころアスファルトで補修された部分を無視すれば、他の街にないクオリティを楽しめる。街灯も他の街に比べればおしゃれな造りで、たまに切れたまま放置されているものがあっても、25 年前の大震災の影響での原発廃止による国を挙げての節電以来の暗い街に慣れているのでへいちゃらだ。

線路脇の信号を渡り、公園内を散歩気分で気持良く歩いていると、後ろから猛スピードでやってきた自転車が私の肩をかすめて行く。「あぶないなバカヤロー」と口にはしたが、自転車は既にはるか先に消えていき、「バカヤロー」が空しく宙に漂う。さらに、前を行く誰かがタバコの歩き吸いをしているらしく、せっかくの朝の気分が台無しだ。この辺りは、路上喫煙禁止区域のはずなのに…。誰でも取り締まって良いのなら、私が罰金（2 万円以下）を徴収してやるのに。公園の出口近辺には、通勤の自転車が多数放置されており、とても歩きにくい。もっと駅の近くに有料の自転車置き場があるが、高収入者が多いと言われているベイタウンの住民でも、月々たかが 1000 円の駐輪料金が惜しいのか。

いやはや、我が街のモラルも落ちたものだ。かつては、ベイタウン自治会連合会というものがあり、志のある人たちが集ってパトロールをしたり、清掃ボランティア活動をしたり、自分たちの街を少しでも良くしようと頑張っていたらしいが、「そんなのメンドウ」「他の暇な人がやればいいでしょ」という人ばかりになり、自治会役員のなり手も皆無で、最後まで頑張っていた超ベテラン達が「もう体力の限界」と引退した 10 年ほど前には自然消滅してしまった。

そういえば、最近街では子どもの姿を見ることも少なく、年配の方々の姿が目立つようになったなあ。かつてはマンモス校と言われた打瀬中学校もすっかり生徒が減り、今や 1 学年 3 ～ 4 クラスとなっているそうだ。今は老人福祉施設のあるパティオス 24 番街となっている場所も、昔は第 2 中学校用地と言われていて、そこをいつの間にかマンション用地にしたということで、行政と住民の軋轢があったとのことだが、今や昔の話だ。年配の方たちの集まりで、イベントや各種ボランティア活動を催していたシニアクラブというものもあったらしいが、25 年前には解散してしまい、年配の方たちの間のコミュニケーションは疎遠で、いわゆる独居老人と言われる人たちばかりになってしまったのは心配だ。

父からは、毎年 5 月に開催されていたベイタウン祭という住民主体のお祭りの写真を見せてもらったことがあるが、そこにたくさん写っていた満面の笑みの子どもたちはどこに行ってしまったのだろう。我が家では、ベイタウンニュースというコミュニティ誌のバックナンバーも 300 号まで大事にとってあるが、その後は発行していた人たちも高齢になり、体力と気力の限界とのことで引退、後継者作りにも失敗したとのことで、残念ながら廃刊となってしまった…。

最近では、近隣の住民からは、「プライドだけ高くて、自分達では何もやらない街」と呼ばれているらしい。この街のおしゃれな外観も捨てがたいが、コミュニティとして機能しない街には、正直将来不安が残る。そろそろ引っ越して、どこか田舎の町に住もうかな、と思っていたら、東京行きの快速がやってきた。「プシュー」とドアが開いた瞬間目が覚めた。ああ、嫌な夢を見た。現実にならないよう、自分にできることを少しでもやって行こう。【板東】

## ベイタウンニュースからのお知らせ

1997 年 6 月に創刊した本紙「幕張ベイタウンニュース」は、9 月号で 172 号となり 15 年目をむかえています。ニュースの配布にご協力いただいているサポーターのみなさんと読者のみなさんのおかげです。感謝します。

ベイタウンの住宅地域に毎月全戸配布されているベイタウンニュースとは、どのような新聞で、どんな形で発行されているのか改めてご紹介します。

**●ベイタウンニュースの創刊の経緯**

ベイタウンニュースが創刊された 1997 年は、幕張ベイタウン自治会連合会が発足した年でもあり、「自治会連合会準備委員会」の広報担当者（現在の編集員）が中心となって街のコミュニティ誌を目指して発行されました。

**●幕張ベイタウンニュースは、**

街の情報を共有するという観点からホットな話題を伝え、時には住民間で意見が対立することも臆せず取り上げ、単なる連絡事項・情報の発信にとどまらず住民参加の街づくりの役割をはたそうと発行しています。

基本コンセプトは、政治・宗教・思想に与しない活動です。

**●活動しているのは、**

発足当初からのメンバー３人（内２人がサラリーマン）を中心に現在休職（？）中の２人を加え５人で運営しています。 最近は、人手不足、取材力不足で困っています。

ベイタウンニュースは取材・編集から配布までのすべての活動が無給の住民ボランティアによって行われています。

**●ベイタウンニュースの発行費用**

創刊時から報道機関としての独立性を保つため、発行に係る財源は広告収入のみで賄っています。最近は約 9.000 部を発行していますが、財務的には厳しい状況です。たとえば 8 月号はスポンサーが付かず、赤字でした。。

**●編集作業は完全 IT 化**

デジタルデータで作成された内容を e-mail で校正し、印刷しています。

**●新聞の配布は**

印刷された新聞は、各街区からのボランティアで構成されているサポーターの皆さん（中学生からシニアまで現在約 40 名）が毎月第一土曜日朝にコアに集まりベイタウンの全戸に配布しています。

**●ベイタウンニュースのバックナンバーは**

ホームページ（http://www.baytown-news.net/）」で創刊号からの全号を閲覧できます。

**●ベイタウンニュースへの情報提供、ご意見は**

街のみなさんからの情報提供を待っています。どんな小さな話題でもお知らせください。

情報提供は：editor@baytown-news.net（メール）、043-211-6853（電話・FAX）またはベイタウン・コアに設置されているベイタウンニュース投書箱までお願いします。なお、情報確認のため、投書の際には必ず連絡先を記載してください（匿名希望の場合も同様です）。

**ニュースサポーターと記者を募集しています**

毎月発行されるベイタウンニュースをベイタウン全戸への無料配布を続けていくためにはボランティアの皆さんの協力が不可欠です。現在、新しい街区をカバーするための「ニュースサポーター」が不足しており、サポーターがいないため他の番街の方が配布している番街もあります。ここ数年以内に入居された皆さん！ベイタウンニュースの配布を手伝ってください。毎月の第一土曜日にベイタウンコア講習室でお待ちしています。

またベイタウンニュースでは記者を募集しています。ご希望の方は、editor@baytown-news.net（メール）までご連絡ください。

## 幕張海浜公園「花植え隊」メンバー募集中！

【日時】毎月第二第四水曜日　10 ～ 12 時　※ 雨天中止
【集合場所】公園Ａブロックナーセリー（京葉線高架下付近）
【内容】種から苗を育て、育てた苗を公園内の花壇（ベイタウンから海浜幕張駅に抜ける道沿いの植樹桝）に植えています。 9 月にはビオラ、ハボタンなどのタネを新たにまく予定です。
※「花植え隊」はメンバーの自主性に基づく活動なので、毎回参加しないといけないものではありません。
【参加費】無料（ただし、ボランティア保険料は各自負担）
【参加方法】年間登録（無料。申込書に氏名、連絡先を記入していただきます）とボランティア保険の加入が必要です。公園管理事務所（下記）にご連絡ください。
【締切】なし。随時募集。
【持物】なし。必要な道具は公園側が用意します。
【申込先】県立幕張海浜公園みどりと海パートナーズ（担当：吉田）
ＴＥＬ：043-296-0126、ＦＡＸ：043-296-0128

## 編　集　後　記

最近実家の犬（クロ柴）を散歩させることが多くなった。以前飼っていた犬以来、久しぶりのことなので、最初は緊張の連続だった。車や自転車、小さな子ども、大きな犬…なかなか障害物は多い。今年は酷暑ということもあり、人も犬も日陰ですぐ休む。見知らぬ人に「ワンちゃんも大変ね」と同情されることもしばしば。しかし、○○チをしながら情けない顔をするのを見ると可笑しくて愛おしい。携帯で撮った犬の写真をむりやり見せる、ただの犬好きのおばさんになってしまった。でも可愛い！**【佐藤　則子】**

今月はネタがなく、苦し紛れに小説仕立てでこの街の最悪のシナリオを書いてみました。自治会連合会の人たちや、社協、育成委員会、幕張ベイタウン協議会、など多数の方々が頑張っているので、もちろんこんな最悪の事態にはならないことは信じていますが、住民一人一人が「ひとごと」と思っていたら、こんなことになってしまうかも、という警鐘の意味で書きました。嫌な気分になった人がいたら、ごめんなさい。　**【板東　司】**

幼かった頃に過ごした韓国での夏の思い出は、照りつける太陽から逃れたプラタナスの木陰、庭の水道の蛇口から直接頭にかけた冷たい水、氷水で冷やして食べた桃やスイカの味。目を閉じると小さい頃の思い出がにおい付きで甦ってくる。そして、夏はいつまでも終わらないかに思えた。

あの頃は、暑さの中で走り回った後の水浴びや、そのままかじりついた果物が楽しみで、ただただ楽しく感じていた。そんな純粋な気持ちを最近はあまり感じなくなった気がする。でも節電対策が徹底している今年は、以前は当然のように涼しかった廊下やエレベータの中の冷房が弱くなったり、間引かれて暗くなった照明が昔に戻ったような錯覚を感じさせる。いまの地球環境に優しい暮らしがずっと続けば、楽しかった昔の感覚を取り戻せるのだろうか？

**【金　一剛】**

前ページの板東さんの近未来小説「2036 年」ではないが、ベイタウンは確かに変化してきている。建物などのハードウェアの劣化もあるが、それ以上に劣化しているのではないかと思うのは我々の心の方だ。かつてのベイタウンにはこの街を外観同様、住みやすさや意識でも日本一の街にしようという気概があふれていた。例えば違法駐車問題。道路上を駐車場代わりに使おうものならすぐに貼り紙がされ、ドライバーは住民から注意を受けることも珍しくなかった。こんな成熟した大人の街を求めて移り住んだ人も多かったのではないか。あまり好きな表現ではないが「住民の意識が高い街」ベイタウンもやがてどこにでもあるフツーの町になり、そう言っている私もどこにでもいる偏屈なじいさんになるのだろうか

**【松村　守康】**